

# 祝 けやき

房総ファミリア  
新聞

5コマ  
漫画

# 1500回! インタビュー 連載30周年突入!

けやきの連載がはじまり30年、1500回を迎えることができました。今回1500回を記念して、けやきの作者「森本はつえ先生」に、読者からの質問を投げかけてみました。

Q ストーリーは何をヒントにしているのですか? 普通の体験したことですか?

A 体験というか生活からですね。季節や行事のいろいろなことを調べてそれをもとに考えたりもします。

Q どんなときに、漫画のネタを思いつくことが多いですか?

A 大体机の前ですが、寝ている時とかご飯を食べている時に浮かぶことも多いです。

Q 参考にしているものなどはありますか? 取材などはしているんですか?

A ネタに詰まると昔の作品を参考というか読んでみたりもします。取材は日常生活なので特別に出かけたりはしません。

森本先生が描くけやき! ファミリーのお話は生活に身近な話題が多く、「楽しい、ほのぼのする」「参考になる!」という感想を多くいただきます。そこで、ネタ探しについてお聞きしてみましょう!

Q 5コマ漫画になったきっかけは?

A 平成2年の夏、8月1日に第一回の「けやき!」が掲載されたのですが、その時は水曜日で今とスペースが違って4コマでした。で、86話まではそのままでしたが平成4年の春に土曜日に移り同時にスペースが縦長になりました。そのまま4コマで割ると描きにくいので5コマに割って今に至っています。

実はこちら... 一般的な4コマ漫画ではなく5コマ漫画なのです。

Q 4コマではなく、5コマなら「こだわり」や「難しさ」などはありますか?

A 難しさはあまり感じません。むしろ遊びに倦めるコマが一つあるので大きいコマを作ってみたり、説明に一コマ使ったりして大いに活用しています。

Q 5コマでは伝えきれないなあと思うことはありますか?

A それはもっと長い漫画で伝えることになります。5コマで伝えられることをテーマに描いています。

Q 1~5の、どのコマから描き始めるのですか?

A 最初のコマからですね。

Q 何歳から漫画家を志望しましたか? 絵はたくさん練習したのですか?

A 小学校3年生の時にノートに鉛筆で漫画を描きはじめました。中学高校と漫画研究会を作らずずっと描いていましたが当時はすごい人たちが続々デビューしていた時期で、漫画家になれるなんて思わなかったです。本当に志したのは社会人になってからです。

長年活躍されている森本先生ですが、どうして漫画家を志望されたのでしょうか?

Q 目標としていたマンガ家さんはいますか?

A 目標というか憧れであり神様でもあるのが手塚治虫先生です。

Q デビューはいつ頃ですか? どのような形でデビューしましたか?

A 29歳の時にヤングジャンプの青年漫画大賞の準入選に入ってその作品でデビューしました。

Q マンガを描いていて、失敗したことは?

A デビューしてからしばらくして売れる漫画を描こうと思すぎて漫画が描けなくなりました。やめようかとも悩みました。

デビューからの経験の中で...

Q 漫画を描く際に、心がけているテーマや考えなどがありますか? 何を表現しようと考えていることが多いですか?

A 命とか地球とかなんか漠然とそんなもんが頭にありますが特にテーマというようなものは無いです。見る人が楽しめるものを描きたいですね。

Q 今後、どんなマンガを描いてみたいですか?

A 死ぬまでに今同人誌で描いているSFを完成させたい。

毎回楽しませてくれるのが、登場人物のおとほげさんなところや博学なところ。これにはどんな工夫が?

それから、絵のタッチや勢いに元気をもらって、いつも生き生きした漫画で元気が出ます、という声も。

Q 長く連載を続けるコツや習慣はありますか?

A 締め切りを守る。

Q 毎回連載して大変さをカバーしてる活力は何ですか?

A うーん.....大変だとも思わないんですけど、もう意地ですかね(笑)

Q 趣味や、ストレス解消方法は?

A 趣味は恐竜をはじめとする古生物です! 博物館でボーっとするのが好きです。プラスお酒を楽しく飲むことです。

Q コマの中のセリフで、注意されている点がありますか? (短い言葉での表現なので苦労があるのでは?と気になります)

A コマが小さいので内容を伝えられるぎりぎりまで字数を削ります。

Q どうやってたてつもない元気なタッチの絵を描けるのですか?

A 「けやき」と言うパワフルなキャラクターに引っ張られています。

房総ファミリア新聞では、平成2年(1990年)8月1日の初回掲載より30年、そしてまだまだこれから「けやき!ファミリー」はなくてはならない存在です。その「継続力」のヒミツにも迫ってみます!

Q 1500回近く連載されていますが、今まで一番苦労されたこと、努力されたことは何ですか?

A ともかく続けることです。1500回近くに入院をしてひと月休んでしまったのが一番悔しかったです。

★平成30年を書き続けて、「変わった」ところ・「変わらない」ところ。今後の抱負を!!

たとえば「けやき!」の中で固定電話しかなかったところにケータイが出始めて、それが当たり前になって、さらにスマホになったりと世の中はずいぶん変わったんだなあと思います。でもけやきとこれには6歳と4歳のままだので「子供の目で世界を見る」というそこは変わりのないところですね。

★マンガ家を目指す人たちに何か必要な事、応援があればお願いします!

まず、4コマでもショートショートでも長いストーリー漫画でも、とにかく最後まできちんと描き上げること。そしてそれをプロの編集者に批評してもらうこと。その批評を消化して自分なりに生かしてまた次の作品を描き上げること。その終わりのない繰り返し漫画家という仕事です。私は看板を上げていますが実質は主婦兼業漫画家です。漫画だけで食べているわけではないですし、そこまで行くのは実に大変なことです。地道な積み上げを支えるのは健康な体と漫画に対する情熱だけです。食べて運動して勉強して強い心と体の上に漫画家になる夢を乗せてください。

先生の「栄養」は何ですか? 漫画

勝負飯はありますか? 無いです

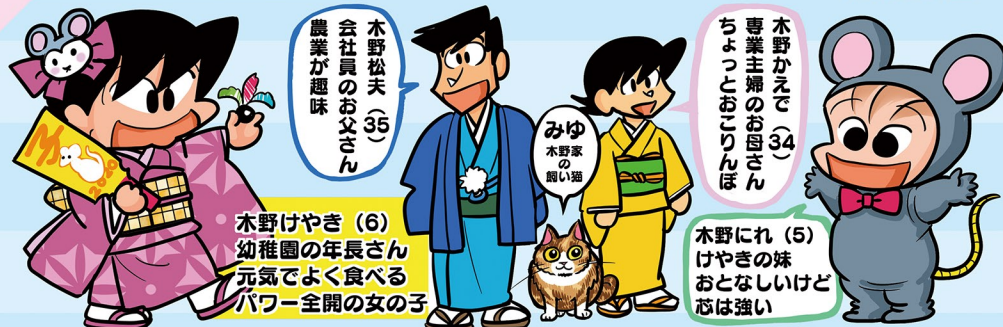
好きな食べ物は? アナゴのお寿司

先生の趣味は、家庭菜園? (けやきのお父さんがそうだから...)

あれは夫の趣味なのでそのまま「けやき!」にシフトしています。私はインドア派で本読んでごろごろしてるのが趣味です



森本はつえ先生



木野松夫 (35) 会社員のお父さん 農業が趣味

みゆ 木野家の飼い猫

木野かえで (34) 専業主婦のお母さん ちよっとおこりんぼ

木野けやき (6) 幼稚園の年長さん 元気でよく食べる パワー全開の女の子

木野にれ (5) けやきの妹 おとなしいけど 芯は強い

これからも、けやき!ファミリーをよろしく願います(^▽^)/

